

校長室から平成30年12月13日

演奏する生徒達 ユニホーム姿で試合をする生徒達

12月に入り、本格的に寒さが厳しくなってきました。平成30年も駆け足で過ぎ去ろうとしています。3年生の生徒達は、志望校がほぼ決定し、目標達成に向かって取り組んでいると思いますが、心身のバランスを崩さずに、一歩ずつ進んでほしいと思います。

1, 2年生の生徒達は、3年生から引き継いだ伝統をさらに向上させようと努力しています。先日、太白区文化センターで行われた吹奏楽アンサンブルコンテスト太白地区大会を参観してきました。本校からは、四つのパートが参加しましたが、いずれのパートも普段の練習の成果を発揮し、すばらしい演奏でした。本番前の緊張した姿、堂々と演奏する姿、そして終わった後の安堵した表情。中学生らしい心豊かな姿に触れ、うれしく思います。コンテストに出場した生徒だけではなく、部員全員で盛り上げている様子もとても立派でした。夏のコンクールに向けて、さらに成長してほしいと思います。

今月初旬には、男子バスケットボール県大会を参観しました。宮城県第3位という立派な成績でしたが、成績だけではなく、卓越した技能を十分に発揮する姿に、若い世代の限りない可能性を感じました。翌日、彼らは「応援ありがとうございました。」と廊下や体育館であいさつしてくれました。強くなっていくチームの姿勢と日常生活は繋がっていると感じます。

以前、宮城スタジアムに陸上部の試合を見学に行った時の事でした。大きなスタジアムなので、本校の生徒達を探すのに苦労するかなと思っていましたが、すぐに居場所が分かりました。広い観覧席でしたが、声を揃えて、選手に声援を送る本校の生徒達は、他校の手本となるような姿でした。まだまだ足を運んで応援できていない部活動もありますが、なるべく多くの部活動の様子を参観したいと思っています。部活動で一生懸命に取り組んでいる姿を見ると、制服姿で授業に参加している生徒達とは、また一味違う彼らと接することが出来ます。「なぜこんなプレーができるのだろう。」「どんなふう練習したら、こんなふうになるのだろう。」と本当に感心します。

以前、私がバスケ部の顧問だった頃、こんな出来事がありました。他県のとても強い中学校が仙台に来て、遠征試合を行っていきました。プレーはすばらしく、女子チームとしては図抜けていました。しかし、周囲で見えても試合に臨む態度が粗雑で、あいさつもあまりできない生徒達でした。他チームをやや見下している部分もあり、あまり感心できる態度ではなく、正直、試合をする事に対して気が進みませんでした。その日の最終ゲームで対戦しました。接戦になり、最終的には引き分けでゲームが終了しました。試合の途中で、対戦チームの選手達が、ゲームを有利に展開できず、イライラし始めているのが分かりました。やがて、同じチーム同士で互いに避難する声が飛び出し、審判にもクレームを付け始めました。作戦タイムでも監督の指示をあまり聞かず、ふてくされて、気持ちもバラバラになっていました。引き分けで終わった後、結果に納得できないキャプテンが、私にあいさつに来た時に、「今日は、スタメンが3人しか出ていないので・・・。」と話しかけてきました。このチームは、上位の大会には進めないのではないかと不安に思っていたのですが、その通りになってしまいました。

部活動は、他者と協力しながら高め合っていくものです。本番を迎えるまで、トラブルが頻繁に起きたり、日常生活で注意を受けたりする集団は、最大限の力を発揮する事はできないでしょう。部活動はもちろん、様々な場面で個性を発揮し、可能性を伸ばしてほしいと思います。